

国民健康保険保健事業の取り組み状況について

1 令和5年度の取り組みについて

(1) 糖尿病性腎症重症化予防事業の実施

① 受療勧奨プログラム・重症化予防プログラム

40歳以上75歳未満の被保険者に対し、糖尿病性腎症重症化予防プログラムに沿って受療勧奨や保健指導等を行い、早期に医療介入することで糖尿病の重症化を予防します。

【対象者】

特定健診受診結果から下記ア～ウの基準により抽出します。

- ア) HbA1c6.5%以上
- イ) eGFR60ml/分/1.73m²以下
- ウ) 蛋白尿(+)以上

【実績】

(令和6年3月末時点)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (暫定)
受療勧奨のみ (上記アに該当)	該当者	37人	48人	21人
	受療者	15人	26人	3人
	受療率	40.5%	54.2%	14.3%
重症化予防(保健指導) (上記アかつイまたはウに該当)	該当者	5人	8人	11人
	受療者	4人	3人	3人
	受療率	80.0%	37.5%	27.3%

※平成30年度から該当となった人について、最長5年間の受療確認と受療勧奨を継続して実施しています。

② 治療中断者プログラム

糖尿病治療を中断している可能性がある被保険者に対し、受療勧奨を行う。

【対象者】

令和5年6月診療分から令和5年11月診療分までの間に、経口薬や注射薬による糖尿病治療歴がある人のうち、最終の受診から6か月間、医療機関の受診が確認できない人

【実績】

(令和6年3月末時点)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
該当者	6人	15人	11人
受療者	4人	6人	4人
受療率	66.7%	40%	36.7%

(2) 重複・多剤服薬者に対する取り組み

【概要】

重複服薬者(※1)、または多剤服薬者(※2)へ服薬通知(3か月分)を送付し、今年度から訪問指導に加えて電話による服薬指導を実施しました。

※1 同一月に複数の医療機関から同じ薬剤の処方を受けている可能性がある人

※2 同一月に10種類以上の薬剤を定期的に受けている人

【実績】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
通知者数	187人	409人	593人
うち架電者数	—	—	110人
うち訪問者数	23人	36人	8人

対象者593人に対し令和5年10月上旬に通知を送付し、特に指導が必要と考えられる110人には電話による服薬指導を、8人には訪問による服薬指導を薬剤師等が実施しました。

効果検証した結果、313人(約52.8%)に処方の変更が見られました。通知前後の3か月で比較すると、数量ベースで537剤、金額ベースで約30万円の削減となり、推定削減金額は年間で120万円以上と考えられます。

(3) ジェネリック医薬品使用率向上の取り組み

【概要】

ジェネリック医薬品希望カードは新たに国民健康保険に加入した被保険者に配付し、希望シールは被保険者証更新時に同封し郵送しています。

ジェネリック医薬品を使用した場合の差額が大きい被保険者に、削減可能額を記載した差額通知を年2回送付しています。

【実績】

○差額通知

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
発送件数	2,259件	1,750件	1,332件
効果額	883,917円	2,657,837円	1,049,640円

※効果額は、保険者負担相当額

○ジェネリック医薬品使用割合(数量シェア)

	令和3年 9月診療分	令和4年 3月診療分	令和4年 9月診療分	令和5年 3月診療分	令和5年 9月診療分
明石市	80.4%	80.8%	81.4%	82.0%	82.2%
兵庫県	78.6%	78.7%	79.2%	80.1%	80.9%

(4) 特定健診未受診者対策

【概要】

特定健診の未受診者に対して、過去の健診受診歴や生活習慣病レセプトの有無、その他既往歴（がん、精神疾患、高額レセプト）などでグループ分けを行い、それぞれに最も効果的と考えられる通知を5種類作成し、9月上旬に受診勧奨通知（はがき）を送付しました。

【実績】

グループ	未受診者数 (A)	受診者数 (B)	受診率 (B÷A)
①毎年受診者（過去3年連続受診）	1,193人	809人	67.8%
②受診歴あり（前年受診あり）	4,785人	2,403人	50.2%
③受診歴あり（前年受診なし）	3,654人	725人	19.8%
④継続未受診者（受診歴なし）	16,353人	476人	2.9%
⑤新規対象者（受診歴なし）	2,784人	469人	16.8%
合計	28,769人	4,882人	17.0%

(5) スマホとスマートウォッチを活用した健康管理支援事業

【概要】

特定健診の結果で生活習慣病になるリスクが高い人を対象に、スマホとスマートウォッチを活用し、AIからのアドバイスを受けて自分で健康管理を行う手法を導入することで、これまで対面での保健指導を敬遠していた層にも生活習慣の改善に関心を持ってもらう。

また、ハイリスク者の生活習慣の改善を図り、糖尿病を含む生活習慣病を予防する取り組みにより医療費の増加を抑える。

【対象者】

令和4年度の特定保健指導対象者・（BMIが25～26）の者のうち、参加を希望した人36名

【実績】

参加者の各数値の増減(事業開始→終了 比較)

	減少者数	増加者数	平均	最大値	最小値
体重	21人	2人	-1.6kg	-5.8kg	+0.8kg
体脂肪量	19人	3人	-1.4kg	-5.0kg	+1.3kg
筋肉量	12人	11人	-0.7kg	+1.5kg	-1.8kg
歩数	14人	10人	+1,724歩	+24,884歩	-9,398歩

2 第2期データヘルス計画における各種指標の達成状況

(1) 自身の健康状態の把握

① がん検診受診率の向上（大腸がん検診）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度（暫定）
明石市	11.7%	11.7%	12.2%
兵庫県	16.0%	16.2%	-

② 特定健診受診率の向上（目標値40%）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度（暫定）
明石市	25.5%	26.3%	24.0%
兵庫県	33.0%	34.2%	-

③ 特定保健指導実施率の向上（目標値40%）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度（暫定）
明石市	32.9%	26.2%	24.7%
兵庫県	28.9%	30.0%	-

<全被保険者への健診受診に関する周知>

- ・国民健康保険料決定通知書送付時に健診パンフレット同封
- ・国民健康保険被保険者証送付時の案内書面の一部活用
- ・高額療養費通知書封入封筒の一部活用

(2) 生活習慣病の治療や改善（特定健診受診結果より）

① 血糖有所見者割合の減少（HbA1c5.6%以上の者の割合）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度（暫定）
	52.5%	51.5%	52.3%

② 血圧有所見者割合の減少（I度高血圧以上の者の割合）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度（暫定）
	25.8%	25.8%	23.4%

③ 重症化予防〔新規透析患者の減少〕（人工透析患者数（うち新規患者数））

	令和3年度	令和4年度	令和5年度（暫定）
	189人（21人）	197人（19人）	208人（16人）

(3) 骨折や筋力低下の予防

① 筋・骨格系疾患医療費の減少（疾病別医療費（入院））

	令和3年度	令和4年度	令和5年度（暫定）
	594,545千円	648,304千円	650,667千円

② 骨密度測定者数の増加（骨密度測定者数）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策により、令和2年度から骨密度測定を実施していません。

3 令和6年度の取り組みについて

令和6年度からは、第3期データヘルス計画に基づき特定健康診査・特定保健指導事業、糖尿病性腎症重症化予防事業及びジェネリック医薬品普及促進事業等の保健事業を実施します。

各事業については、令和5年度の取り組みを継続して実施します。

スマホとスマートウォッチを活用した健康管理支援事業については、令和5年度の特定健診の結果により、生活習慣病のハイリスク者を対象に60人を募集しました。広報課へ相談のうえ、より分かりやすいリーフレットに変更し、募集方法をウェブからの申し込みとしたところ、初めて申込者数が定員に達しました。

また、人間ドック助成申請について、ウェブから申し込みができるようにしました。5月1日から受付を開始し、例年より早い7月上旬に定員の700名に達しました。